令和７年 10 月 9 日
(地独)青森県産業技術センター
水産総合研究所

2025 年ヒラメ稚魚分布密度調査結果（太平洋）について

当研究所では太平洋における天然ヒラメの稚魚分布密度調査を1999年から行っており、2025年は7月23日、8月19日、10月2日に桁網（水工研Ⅱ型）を用いて三沢市沖8点で行いました（図1）。ヒラメの分布密度は桁網の漁獲効率を0.28とすると0-85個体/1,000m^{2}の範囲にありました（表1）。採集したヒラメの全長組成は、7月23日に水深5mと7mで20-39mm、8月19日に水深5mで40-59mm、7mで50-59mm、10月2日に水深5mで110-119mm、水深7mで110-129mmが主体となっていました（図2）。水深別平均分布密度の最高値を着底指数とすると、2025年は51（表1）で、1999年以降の平均値63を下回る水準でした（図3）。

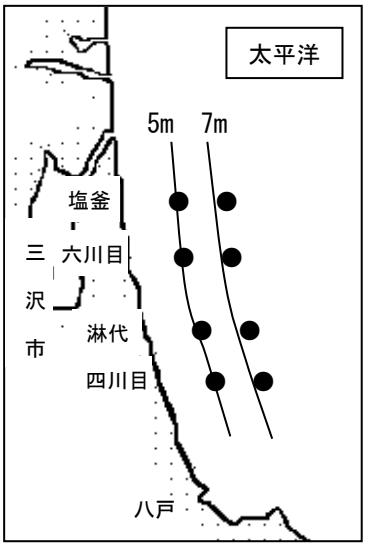

図１　調査地点

表１　ヒラメ稚魚分布密度

太平洋　　（個体/1,000m^2）

水深	5m				7m				5m	7m
調査月日/調査点	四川目	淋代	六川目	塩釜	四川目	淋代	六川目	塩釜	平均	平均
2025.7.23	0	0	8	15	2	7	3	0	6	3
2025.8.19	35	7	34	55	66	49	85	8	33	51
2025.10.2	4	12	4	8	24	6	9	6	7	11

＊桁網の漁獲効率を0.28として算出した。

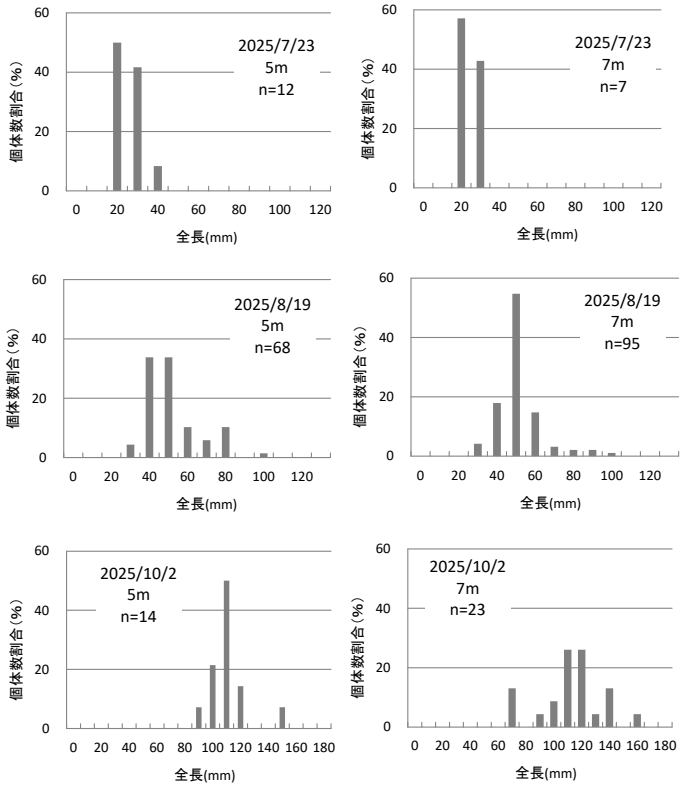

図２　採集したヒラメ稚魚の全長組成

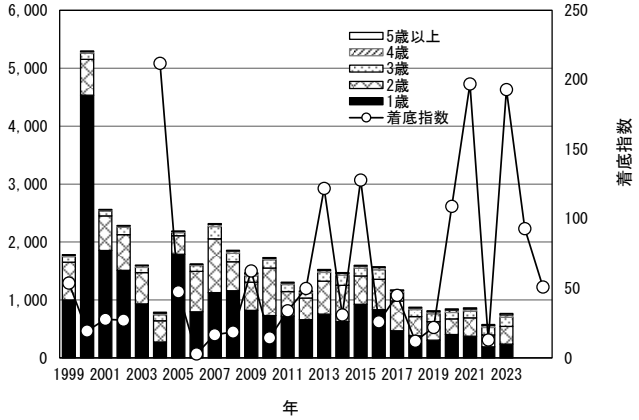

図３　太平洋のヒラメ着底指数と年齢別漁獲尾数の推移